

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	住環境が脳・循環器・呼吸器・運動器に及ぼす影響実測と疾病・介護予防便益評価
研究代表者	伊香賀 俊治 (慶應義塾大学・理工学部(矢上)・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、住環境が健康に与える影響を建築学と脳科学・医学の研究者との連携で明らかにしようとするものである。健康という側面から、我が国の都市計画と建築のあり方を考える非常にユニークで重要な研究であり、行政機関の施策上も重要な視座を与えるもので、社会的な意義が非常に大きい。また、広範な調査を実施してビッグデータを収集し分析を行おうとしている点も高く評価される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>